

平成 26 年 3 月 7 日

## 情報セキュリティ監査実施報告書

この情報セキュリティ監査実施報告書は、平成 25 年度に実施した戸田市情報セキュリティ監査支援業務委託の業務のうち情報セキュリティ内部監査（以下「内部監査」という）及び情報セキュリティ外部監査（以下「外部監査」という）の実施結果を報告するものである。

株式会社 JMC リスクソリューションズは、戸田市が平成 25 年 11 月 22 日から平成 25 年 11 月 29 日までの期間において 23 所属を対象に実施された内部監査に立会い、被監査部門及び内部監査員に対し助言を行った。また、当社は平成 25 年 8 月 15 日及び平成 26 年 1 月 23 日に 3 システムを対象に外部監査を行った。その結果は下記のとおりである。

### 記

#### 1 内部監査の総評

戸田市では、平成 17 年度から内部監査を開始し今年度で 9 年目を迎える。情報セキュリティ対策の取り組みを全庁的に浸透させるため、3 年で全ての所属を一巡させており、今年度は 3 巡目の 3 回目に当たる。

平成 25 年度の内部監査は、情報セキュリティ対策の可視化を図る目的で、昨年度に引き続き、対策レベルの推移を把握するための成熟度判定を採用した。その結果として、内部監査被監査部門の現状の対策レベルと市全体の対策レベルが数値として測定可能となり、昨年度の監査結果との比較が可能となった。

また、数値でのセキュリティレベル評価によって、情報セキュリティの取り組みの妥当性やポリシーの改善点が明確となった。

#### 2 対策レベルの結果について

次頁に示す内部監査判定基準に基づく全体の対策レベル平均は、3.02（昨年度 3.01）であった。よって、合格水準である 3.00 を 2 年連続で達成した。

2 年連続で、合格水準を達成したことは評価できる。要因として、事前説明会等の取り組みから、内部監査被監査部門及び内部監査員双方の監査項目に対する理解度が向上したことが考えられるが、根底として情報セキュリティに対する職員の高い意識が継続している状態が伺える。

「内部監査の判定基準」

評価	成熟度判定	分類基準
適合 「○」	レベル4 (Good Point)	レベル3の状態が継続的に続けられており、積極的な改善活動がなされている。
	レベル3	情報セキュリティポリシー等の基準を満たしており、標準的な対策が実践されている。
不適合 「×」	レベル2	情報セキュリティポリシー等の基準に対し、属人的な対策であるため、改善の余地がある。
	レベル1	情報セキュリティポリシー等の基準に対し、場当たりの対策であるため、改善必要である。
	レベル0	情報セキュリティポリシー等の基準が適用されていない。又は認識されていない。

3 外部監査の総評

平成25年度の外部監査は、次の3つの主眼点を念頭に実施した。

- ①内部監査では評価できないセキュリティ管理項目の特定
- ②内部監査の役割の特定
- ③外部監査の必要性の特定

その結果、内部監査で見落としがちな項目が特定でき、次回の内部監査判定基準へ考慮すべき課題が明確となった。

また、監査対象システム主管課に対し改善の助言がなされたことで、対策水準が向上し、より確実な運用を実現させる良い機会となった。

4 今後の取り組みについて

内部監査の特性と外部監査の利点を有効に活用し、市の情報セキュリティ対策を効果的に評価する取り組みが望まれる。

例えば、業務における情報のやり取りや保管状況を中心に内部監査で確認することで、ルールへの再認識や職員の意識啓発を促す。一方、専門性の高いシステム面の管理状況は外部監査で確認することで、リスクの早期発見や内部監査への水平展開に役立つといった使い分けが有効である。そうすることで、内部監査の特性に合致したより精度の高い点検に変えていくことが可能となる。

以上